



牛久愛和総合病院 広報誌

一人一人の放射能対策

院長 高崎 健



新年おめでとうございます。

本年は平穏な年であつて欲しいと願っています。しかしながら政治、経済の状況は国内、国外ともに大きく変動することが予想されます。そしてこれらの大きな変動は私たちの身近な事柄にも影響してることを覚悟しておかなければならぬでしょ。今日のように世界が密接に連動している状態では、わが国だけが特別な存在で有り続ける事はできません。しかしこちらはすべて人間の営みの歪みであるので、自然災害とは異なり、人びとの知恵で困難を打開していくことは可能なのです。

原子力発電事故も世界の英知

を集め一日も早く沈静化させるよう研究をしてもらわなくてはなりません。また国民一人一人は自らの身体を放射能被害から身を守ることを考えて行かなければなりません。

放射線は常に自然界にかなりの量が存在し、これまでにも人は少量の放射線を浴び続けて来ているのです。そしてこれが人にがんが出来るリスクを上げる要因の一つにもなっていると考えられてています。今回の事故に際して散布された放射性物質について政府は「直ちに身体に影響がある量ではない」と有名になってしまった見解を発表していましたが、医学的にはまたたく無責任な話なのです。世界中に放射能を撒いてしまい自然界的放射線のレベルを、たとえどんなに少ない量であると云つても、上げてしまふことは認めざるを得ません。

しかしながらラドン温泉などホルミシス効果と云つて微量の放射線は身体を活性化させる作用があることも云われており、学者達が云うようにまだ無闇に

心配し過ぎる量ではないとも考えられますが、本当のことはこれから数年以上経過してからでないと解りません。この間自ら放射線から身を守り、発がんのリスクを下げるようになってからリスクを下げるようになってから日々の対応は必要でしょう。そのためには身体の外部からの放射線被曝よりも呼吸、食べ物などで身体の中に入り、臓器の中に留まってしまった放射性物質からの年余に渡る内部被曝から身を守る予防対策が大切です。

空気中の放射能を心配する方は何倍もの放射性物質を吸い込む事になるタバコ喫煙は控えるべきでしょう。食物から入る放射性物質を増やさないためには全ての食品の放射線量を測るよう行政の対応が求められます。また発ガスを許さないよう全般的の自己防御機能を良好な状態に保つ事も必要なことであります。食生活の見直しと共に常に健康で明るく楽しくをモット

ウにした生活環境作りも、難しい事でしあが、心掛けなければならぬでしょう。今年も健

康長寿を目指して。

品はじめまして



12/12付入職
保育課
阿部久美子



12/1付入職
看護部
鈴木真由美



12/1付入職
看護部
海老原望



12/1付入職
看護部
山領さおり

つていただきたいと思います。



11/30付退職
脳神経外科
売野智之

おつかれさま

わからない事だらけですが、思いやりを忘れず、仕事に励みたいです。

毎日、笑顔で子供たちと関わる

マーカー」と呼ばれる、「がんの目印となる特定の物質を説明します。

腫瘍とは、体内的細胞の一部が突然、異常分裂してしまってなるものです。良性と悪性があり、悪性腫瘍が「がん」です。

看護師歴一年目の新人ですが、一生懸命取り組んでいきたく思います。

腫瘍マーカーは、がんの発生臓器と強い関連性を持つ特徴があるため、血液中にこの物質が基準以上に出たとき

腫瘍マーカーは、がんの発生臓器と強い関連性を持つ特徴があるため、血液中にこの物質が基準以上に出たとき

腫瘍マーカーの検査は、がんのスクリーニング（ふるいわけ）として行われますが、現状ではまだ理想的な検査とはいえない。腫瘍マーカーが陽性だからといって必ずがんがあるわけではなく、反対に陰性だからといって完全にがんが否定できるわけではありません。

数値の上昇はがんの進展に比例することが多く、早期では正常のこともあるため、がんの早期発見のためといいうよりも、主としてがんを診断していくうえのひとつ補助的な検査、あるいは治療していくうえでの経過観察の検査としての意味合いが強くなっています。したがって、数値の解釈は患者さんが自分で行うのではなく、医師の説明を受けて判断することが大事です。

臨床検査センター 德永 博正

(株)BML

Q 脂肪肝の予防と治療について教えてください。

A 脂肪肝といえば、以前はアルコールによるものが多かったのですが、最近は糖尿病や肥満によるものが増えております。

Q & A フォーナー

ここが知りたい！素朴な疑問にわかりやすくお答えします。

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

Q

第21回 生活習慣病教室】開催

テーマ COPD

♪呼吸器病と生活習慣♪

日時 2月13日(月)
14時30分から約一時間

講師 総合診療科 藤繩 学医師

会場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参加費 無料

○お問い合わせ先
牛久愛和総合病院 総務課
電話 029-873-3111代

今日は、煙草を吸っている方に多く発症する、COPD（慢性閉塞性肺疾患）のお話です。事前予約は不要です。興味がおありの方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。

春秋園だより



新春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。今回は、十二月十八日（日）に開催した入所でのクリスマス会を紹介させていただきま

す。

始めに、利用者様のハンドベルで『赤鼻のトナカイ』『ジングルベル』『もろびとこぞりて』を演奏しました。その後、利用者様と職員によるフラダンス、ボランティアさんによるクリスマス曲の演奏を行うと、会場の雰囲気は、

クリスマス一色になりました。

利用者様も喜んでおられました。新年にあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

（春秋園スタッフ一同）



プログラム 時間17:30~18:30 発表時間6分 討議4分

12月7日（水）挨拶 内科瀬口部長 座長 看護部 稲葉師長
審査員 内科瀬口部長、看護部 寺田部長、薬剤センター 中野科長

所属	演者	演題
1 医療安全推進室	岩井野久男	事故報告数から見たサポートチームの現状 “チームSTEPPSの推進”
2 B 6階	根本 未来	インシデントレポートに対する意識調査と取り組み
3 画像診断センター	橋本明日香	CT（CT冠動脈造影）の紹介
4 A 5階	柏 幸恵	電子カルテ導入前後の看護業務の比較と今後の課題
5 医局	高橋 元	眼瞼縁腫瘍除去に睫毛を含めた切除例の形成外科・美容外科的検討

12月8日（木）座長 画像診断センター 沖津主任
審査員 内科瀬口部長、看護部 寺田部長

所属	演者	演題
1 総務課	鈴木 浩司	当院の地域医療活動 ～生活習慣病教室の実績～
2 外来	坂本 千絵	片頭痛患者における食生活調査
3 臨床工学科	松本 一輝	院内医療機器の消費電力調査
4 A 4階	遠峰 洋子	新人看護師のストレス実態調査
5 A 6階	川村 淳子	整形病棟における身体抑制意識度調査

12月9日（金）座長 内科 飯野医長
審査員 内科瀬口部長、看護部 寺田部長、リハビリセンター 高橋センター長

所属	演者	演題
1 梗塞委員会	岡田 則子	在宅褥瘡セミナー参加者アンケートから見た当院の褥瘡の問題点とその検討
2 I C U	粉川 竜也	CAM-I C U導入に向けてのアンケート調査
3 BML	石田 幸治	プロカルシトニンと血液培養の相関
4 B 7階	馬場 佳子	拘縮手、ミトン装着患者の不快臭に対して手浴を用いた消臭効果の比較検討

閉会挨拶：瀬口医師

12月7日（水）から9日（金）の業務終了後17:30～18:30まで大ホールにて院内研究発表会が開催されました。
大勢の職員が集まり、審査員の方々や各部署から質問や意見が活発に交換されました。今回も、審査員を選出し、座長を含むことができました。

優秀演者
・医療安全推進室 岩井野久男
・看護部 外来 坂本 千絵
I C U 粉川 竜也

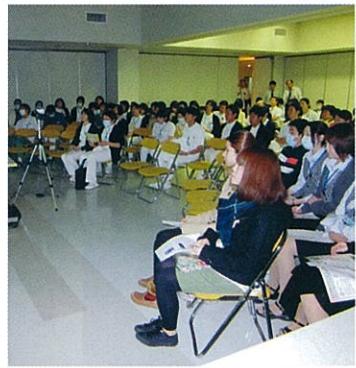
めで審査を行い優秀演者を決しました。優秀演者は1月4日の全体朝礼で表彰されました。

第44回 院内研究発表会開催



院内感染対策講習会

12/1



△出来事ピックアップ△

スマスのフラダンス、くまさんのおでかけのリズム、大きなかぶの劇、楽しいグリとグラの一年間の音楽劇のあとに、待ちに待つたサンタさんの登場です。サンタさんからプレゼントをもらひ、頭をなでてもらいました。そして、サンタさんと一緒にキヤンドルサービスをしました。

十二月一日(水)17:30より、中外製薬株式会社 医薬情報管理室 野上弘之氏を講師に迎え、「今シーズンのインフルエンザ対策について」の講習会が行なわれました。インフルエンザウイルスの基礎や手洗いの重要性、せきエチケットなどを再確認しました。早めの予防と発症後の早期受診で感染を広げないように気をつけたいと思います。

(院内感染対策委員会
12/18)



病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 504床 (一般445床 医療療養型59床)

施設

敷地 57,911 m² 駐車場 1040台

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)

小児科(小児循環器、小児心理)

循環器(心臓血管外科)

形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)

皮膚科(レーザー)

